

I 施設の概要			施設コード		S04-03-01		
施設名			石浜ふれあい館				
所在地			南千住三丁目28番2号				
部課名			区民生活部コミュニティ施設課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成25年	414,233			
		増改築①					
		増改築②					
併設施設							
竣工年月日		平成25年3月12日		区職員	その他		
供用開始年月日		平成25年4月1日	職員数	0	14		
構造		鉄筋コンクリート造	階層	地上4階			
面積		敷地面積	1,018.44 m ²				
		延床面積	1,105.06 m ²				
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る					
関連部署							
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱					
駐車場の状況		2台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況		30台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



管理形態	指定管理	株式会社 日本デイクアセンター	期間	令和6年4月1日	から
				令和11年3月31日	まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	年末年始			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数(人)	13,344	12,758	14,574	14,072	14,330
	貸室利用者数(人)	3,240	3,912	4,712	6,529	6,648
	開館日数(日)	357	357	353	356	356
	利用者評価(%) ※	67	73	69	76	—
	指定管理料(千円)	50,333	47,191	48,766	53,306	56,128
	指定管理者の支出合計(千円)	43,958	41,764	43,408	47,769	50,225
	指定管理者の人件費(千円)	25,784	22,880	21,303	27,185	29,914
※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選んだ人の割合						
指定管理に係る費用等	運営費(千円)	2,207	2,811	2,655	3,045	2,855
	管理費(千円)	15,283	15,185	15,601	15,696	16,291
	人件費(千円)	25,784	22,880	21,303	27,185	29,914
	修繕費(千円)	684	888	3,849	1,843	1,166

備考	○令和8年度欄の金額は協定額である。
----	--------------------

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	57,533	57,509	▲ 24		国庫支出金	50	0	▲ 50	
		維持補修費	2,668	1,100	▲ 1,568		都支出金	75	374	299	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	5	28	23		使用料及び手数料	251	325	74	
		減価償却費	12,361	12,361	0		その他	8,839	8,063	▲ 776	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	9,215	8,762	▲ 453	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 63,352	▲ 62,236	1,116	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 1,233	▲ 1,089	144	
		行政費用合計(b)	72,567	70,998	▲ 1,569		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 64,585	▲ 63,325	1,260	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 64,585	▲ 63,325	1,260				
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	流動負債	13,257	13,403	146	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	13,257	13,403	146	
	固定資産	有形固定資産	272,495	260,133	▲ 12,362		賞与引当金	0	0	0	
		土地	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0	
		建物	395,858	395,858	0		固定負債	90,166	76,763	▲ 13,403	
		建物減価償却累計額	▲ 128,258	▲ 138,946	▲ 10,688		特別区債	90,166	76,763	▲ 13,403	
		工作物等	24,971	24,971	0		退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 20,076	▲ 21,749	▲ 1,673		その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	103,423	90,166	▲ 13,257	
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産	169,072	169,967	895	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計		169,072	169,967	895		
	資産の部合計	272,495	260,133	▲ 12,362	負債及び正味財産の部合計		272,495	260,133	▲ 12,362		
	備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。 有形固定資産の建物、工作物等においては、竣工時の資産に対する減価償却が進んでいる。 建設工事のうち、一部外構等は資産形成には該当しないため、固定資産には含まれていない。									

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	29	32	35	38	
	1㎡当たりコスト(円)	61,350	62,626	65,668	64,248	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	59	55	49	57	
	経費に占める収入の割合（％）	10	7	13	12	
	利用者1人当たりコスト(円)	4,088	4,152	3,763	3,446	
	開館1日当たりコスト(円)	189,902	193,854	205,572	199,433	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね5～6割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	85	81	75	79	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要			施設コード		S04-03-02	
施設名			南千住ふれあい館			
所在地			南千住六丁目36番13号			
部課名			区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
				国・都	区債	一般財源
建築		平成24年	630,672			
増改築①						
増改築②						
併設施設						
竣工年月日		平成24年3月1日		区職員	その他	
供用開始年月日		平成24年4月1日	職員数	0	15	
構造		鉄筋コンクリート造	階層	地上3階		
面積		敷地面積	1,168.96 m ²			
		延床面積	1,419.15 m ²			
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱				
駐車場の状況		2台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		60台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



管理形態	指定管理	株式会社 ポピンズエデュケア	期間	令和5年4月1日	から
				令和10年3月31日	まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	年末年始			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数(人)	32,583	33,095	32,785	30,156	30,708
	貸室利用者数(人)	21,990	20,324	19,355	19,129	19,479
	開館日数(日)	357	358	357	357	359
	利用者評価(%) ※	61	65	65	61	—
	指定管理料(千円)	58,993	65,660	65,856	67,949	73,803
	指定管理者の支出合計(千円)	60,309	67,267	62,466	65,032	71,491
	指定管理者の人件費(千円)	38,940	41,657	38,697	40,507	43,787
	※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
指定管理に係る費用等	運営費(千円)	1,293	1,830	2,349	1,975	2,255
	管理費(千円)	17,830	21,231	20,082	21,557	23,952
	人件費(千円)	38,940	41,657	38,697	40,507	43,787
	修繕費(千円)	2,246	2,549	1,338	993	1,497

備考	○令和8年度欄の金額は協定額である。
----	--------------------

行政コスト計算書	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	71,659	74,543	2,884		国庫支出金	50	0	▲ 50
		維持補修費	924	1,100	176		都支出金	75	238	163
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	25	27	2		使用料及び手数料	1,104	1,078	▲ 26
		減価償却費	15,475	15,475	0		その他	2,562	5,229	2,667
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,791	6,545	2,754
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 84,292	▲ 84,600	▲ 308
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 2,120	▲ 1,838	282
行政費用合計(b)		88,083	91,145	3,062	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 86,412	▲ 86,438	▲ 26	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 86,412	▲ 86,438	▲ 26	
貸借対照表	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		21,188	21,473	285
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	21,188	21,473	285
	固定資産	有形固定資産	417,113	401,639	▲ 15,474		賞与引当金	0	0	0
		土地	62,202	62,202	0	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	544,572	544,572	0	固定負債	122,316	100,843	▲ 21,473	
		建物減価償却累計額	▲ 191,145	▲ 205,848	▲ 14,703	特別区債	122,316	100,843	▲ 21,473	
		工作物等	11,510	11,510	0	退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 10,025	▲ 10,796	▲ 771	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	143,504	122,316	▲ 21,188	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	273,609	279,323	5,714	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	273,609	279,323	5,714		
	資産の部合計		417,113	401,639	▲ 15,474	負債及び正味財産の部合計		417,113	401,639	▲ 15,474
	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。 有形固定資産の建物、工作物等においては、竣工時の資産に対する減価償却が進んでいる。 建設工事のうち、一部外構等は資産形成には該当しないため、固定資産には含まれていない。									
備考										

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	31	33	36	39	
	1㎡当たりコスト(円)	52,632	57,202	58,857	60,903	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	65	62	62	62	
	経費に占める収入の割合（％）	4	4	4	7	
	利用者1人当たりのコスト(円)	1,443	1,603	1,689	1,849	
	開館1日当たりコスト(円)	220,636	239,120	246,731	255,308	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	70	65	65	73	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要		施設コード	S04-03-03	
施設名	南千住駅前ふれあい館			
所在地	南千住七丁目1番1-208号			
部課名	区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
建築	平成22年			
増改築①				
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	平成22年2月1日		区職員	その他
供用開始年月日	平成22年4月1日	職員数	0	20
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上28階、地下1階建のうちの2・3階部分	
面積	敷地面積	プランズタワー(アクレスティ)南千住敷地内		m ²
	延床面積	1,037.45		m ²
設置目的・経緯	乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱			
駐車場の状況	区民事務所共用	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	区民事務所共用	対応状況	●点字ブロック	●スロープ



管理形態	指定管理	株式会社 日本デイクアセンター	期間	令和8年4月1日	から
				令和13年3月31日	まで
事業内容	・ 児童育成事業 ・ 高齢者レクリエーション事業 ・ 中高生・成人向け、世代間交流事業 ・ 貸室事業 など				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	年末年始			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数(人)	28,322	24,080	27,904	26,481	26,966
	貸室利用者数(人)	36,904	38,511	40,068	34,478	35,109
	開館日数(日)	357	358	357	357	357
	利用者評価(%) ※	51	46	54	62	－
	指定管理料(千円)	52,081	51,754	52,787	53,391	57,477
	指定管理者の支出合計(千円)	51,507	49,978	50,459	50,044	53,653
	指定管理者の人件費(千円)	33,997	32,833	33,237	32,659	34,540
※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選んだ人の割合						
指定管理に係る費用等	運営費(千円)	1,634	2,424	2,151	2,575	2,200
	管理費(千円)	14,935	13,737	14,064	13,746	15,818
	人件費(千円)	33,997	32,833	33,237	32,659	34,540
	修繕費(千円)	941	984	1,007	1,064	1,095

備考	○令和8年度欄の金額は協定額である。
----	--------------------

行政コスト計算書	勘定科目			R6年度	R7年度	差額	勘定科目			R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費		0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	61,210	61,704	494	国庫支出金		50	0	▲ 50		
		維持補修費	2,565	424	▲ 2,141	都支出金		75	374	299		
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
		補助費等	12,580	12,649	69	使用料及び手数料		1,164	1,121	▲ 43		
		減価償却費	10,656	10,656	0	その他		8,238	5,498	▲ 2,740		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)		9,527	6,993	▲ 2,534		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 77,484	▲ 78,440	▲ 956		
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)			87,011	85,433	▲ 1,578	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 77,484	▲ 78,440	▲ 956	
特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)			0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 77,484	▲ 78,440	▲ 956	
貸借対照表	勘定科目			R6年度	R7年度	差額	勘定科目			R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	918	918	流動負債		0	0	0		
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0		
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0		
	固定資産	有形固定資産	631,820	621,165	▲ 10,655	賞与引当金	0	0	0			
		土地	397,000	397,000	0	その他の流動負債	0	0	0			
		建物	394,656	394,656	0	固定負債	0	0	0			
		建物減価償却累計額	▲ 159,836	▲ 170,491	▲ 10,655	特別区債	0	0	0			
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0			
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0			
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0			
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	634,820	625,083	▲ 9,737			
		その他の固定資産	3,000	3,000	0	正味財産の部合計	634,820	625,083	▲ 9,737			
	資産の部合計			634,820	625,083	▲ 9,737	負債及び正味財産の部合計			634,820	625,083	▲ 9,737
	備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。 有形固定資産の建物においては、取得時の資産に対する減価償却が進んでいる。 その他の固定資産は、重要物品（書画）を計上している。										

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	35	38	41	43	
	1㎡当たりコスト(円)	79,374	82,887	83,870	82,349	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	66	66	66	65	
	経費に占める収入の割合（％）	24	7	11	8	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,262	1,374	1,280	1,401	
	開館1日当たりコスト(円)	230,664	240,198	243,728	239,308	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6～7割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	66	80	70	67	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

Ⅰ 施設の概要		施設コード	S04-03-04	
施設名	汐入ふれあい館			
所在地	南千住八丁目2番2号			
部課名	区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債 一般財源
	建築	平成13年 356,192		
	増改築①			
	増改築②			
併設施設				
竣工年月日	平成13年3月30日		区職員	その他
供用開始年月日	平成17年4月1日	職員数	0	13
構造	鉄骨造	階層	地上3階建のうち2・3階部分	
面積	敷地面積	汐入小学校敷地内 m ²		
	延床面積	1,278.63 m ²		
設置目的・経緯	乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱			
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	20台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ



管理形態	指定管理	社会福祉法人 雲柱社	期間	令和4年4月1日 令和9年3月31日	から まで	
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数（人）	45,441	50,116	49,485	55,996	57,021
	貸室利用者数（人）	11,653	10,719	7,762	7,382	7,517
	開館日数（日）	356	356	355	353	353
	利用者評価（％） ※	61	71	72	71	—
	指定管理料（千円）	54,833	57,751	52,646	58,401	63,125
	指定管理者の支出合計（千円）	53,890	55,692	52,265	57,332	60,568
	指定管理者の人件費（千円）	32,745	35,698	30,740	35,124	38,149
に指定管理に係る費用等	運営費（千円）	3,012	3,300	3,413	3,350	3,000
	管理費（千円）	16,922	14,827	16,346	16,759	16,448
	人件費（千円）	32,745	35,698	30,740	35,124	38,149
	修繕費（千円）	1,211	1,867	1,766	2,099	2,971
備考	○令和8年度欄の金額は協定額である。					

行政コスト計算書	勘定科目			R6年度	R7年度	差額	勘定科目			R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費		0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	66,095	68,542	2,447	国庫支出金		50	0	▲ 50		
		維持補修費	1,020	0	▲ 1,020	都支出金		111	238	127		
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
		補助費等	23	27	4	使用料及び手数料		552	533	▲ 19		
		減価償却費	15,779	17,008	1,229	その他		9,260	12,877	3,617		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)		9,973	13,648	3,675		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 72,944	▲ 71,929	1,015		
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
	行政費用合計(b)			82,917	85,577	2,660	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 72,944	▲ 71,929	1,015
特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)			0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 72,944	▲ 71,929	1,015	
貸借対照表	勘定科目			R6年度	R7年度	差額	勘定科目			R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0		
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0		
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0		
	固定資産	有形固定資産	143,217	126,210	▲ 17,007	賞与引当金	0	0	0			
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0			
		建物	465,562	465,562	0	固定負債	0	0	0			
		建物減価償却累計額	▲ 322,345	▲ 339,353	▲ 17,008	特別区債	0	0	0			
		工作物等	6,228	6,228	0	退職給与引当金	0	0	0			
		工作物等減価償却累計額	▲ 6,228	▲ 6,228	0	その他の固定負債	0	0	0			
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0			
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	143,217	126,210	▲ 17,007			
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	143,217	126,210	▲ 17,007			
	資産の部合計			143,217	126,210	▲ 17,007	負債及び正味財産の部合計			143,217	126,210	▲ 17,007
	備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。 有形固定資産の建物においては、建設工事、平成29年度の空調・受変電設備改修工事、令和6年度の屋上防水改修工事に対する減価償却が進んでいる。										

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	66	70	70	73	
	1㎡当たりコスト(円)	63,749	65,471	64,848	66,929	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	61	64	59	61	
	経費に占める収入の割合（％）	8	11	12	16	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,428	1,376	1,448	1,350	
	開館1日当たりコスト(円)	228,963	235,149	233,569	242,428	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	92	94	95	95	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要		施設コード		S04-03-08			
施設名		荒川山吹ふれあい館					
所在地		荒川七丁目6番8号					
部課名		区民生活部コミュニティ施設課					
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成17年	354,470			
		増改築①					
併設施設							
竣工年月日		平成17年12月21日		区職員			
供用開始年月日		平成18年2月1日		その他			
構造		鉄骨造		職員数			
				0			
面積		敷地面積		20			
		延床面積		地上3階			
				666 m ²			
				1,230.26 m ²			
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る					
関連部署							
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱					
駐車場の状況		1台	バリアフリー 対応状況	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況		60台		●点字ブロック	●スロープ		



管理形態	指定管理	特定非営利活動法人 荒川区高年者クラブ連合会	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数（人）	23,014	26,934	28,910	28,482	29,003
	貸室利用者数（人）	29,171	31,237	30,170	33,420	34,032
	開館日数（日）	357	358	357	357	359
	利用者評価（％） ※	49	45	49	75	-
	指定管理料（千円）	55,346	55,417	52,241	57,408	61,482
	指定管理者の支出合計（千円）	52,705	54,883	49,253	54,163	58,831
	指定管理者の人件費（千円）	31,205	33,899	29,303	33,178	38,226
		※ふれあい館利用者アンケートの施設利用評価において、最も高い評価を選択した人の割合				
に指定管理に係る費用	運営費（千円）	2,231	2,677	2,372	2,301	2,900
	管理費（千円）	18,210	17,975	16,619	16,582	16,379
	人件費（千円）	31,205	33,899	29,303	33,178	38,226
	修繕費（千円）	1,059	332	959	2,102	1,326
備考	○令和8年度欄の金額は協定額である。					

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	60,026	62,752	2,726		国庫支出金	50	0	▲ 50	
		維持補修費	644	591	▲ 53		都支出金	75	374	299	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	22	251	229		使用料及び手数料	1,010	1,092	82	
		減価償却費	13,328	13,328	0		その他	2,733	7,163	4,430	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,868	8,629	4,761	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 70,152	▲ 68,293	1,859	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 446	▲ 157	289	
		行政費用合計(b)	74,020	76,922	2,902		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 70,598	▲ 68,450	2,148	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 70,598	▲ 68,450	2,148				
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	流動負債	9,959	0	▲ 9,959	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	9,959	0	▲ 9,959	
	固定資産	有形固定資産	214,417	201,089	▲ 13,328		賞与引当金	0	0	0	
		土地	69,708	69,708	0		その他の流動負債	0	0	0	
		建物	365,486	365,486	0		固定負債	0	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 220,777	▲ 234,105	▲ 13,328		特別区債	0	0	0	
		工作物等	1,295	1,295	0		退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,295	▲ 1,295	0		その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	9,959	0	▲ 9,959	
		建設仮勘定	0	0	0		正味財産	204,458	201,089	▲ 3,369	
		その他の固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	204,458	201,089	▲ 3,369	
	資産の部合計	214,417	201,089	▲ 13,328	負債及び正味財産の部合計		214,417	201,089	▲ 13,328		

備考 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。
有形固定資産の建物においては、建設工事、平成30年度の冷暖房機改修工事に対する減価償却が進んでいる。

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	53	57	61	64	
	1㎡当たりコスト(円)	58,703	58,856	60,166	62,525	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	59	62	59	61	
	経費に占める収入の割合(%)	6	5	5	11	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,384	1,245	1,253	1,243	
	開館1日当たりコスト(円)	202,297	202,257	207,339	215,468	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	62	64	63	67	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要			施設コード		S04-03-05		
施設名			峡田ふれあい館				
所在地			荒川三丁目3番10号				
部課名			区民生活部コミュニティ施設課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成23年	678,070			
		増改築①					
		増改築②					
併設施設							
竣工年月日		平成23年2月4日		区職員	その他		
供用開始年月日		平成23年4月1日	職員数	0	10		
構造		鉄筋コンクリート造	階層	地上3階			
面積		敷地面積	1,295.36 m ²				
		延床面積	1,767.90 m ²				
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る					
関連部署							
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱					
駐車場の状況		2台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況		53台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



管理形態	指定管理	労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団	期間	令和4年4月1日	から
				令和9年3月31日	まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	年末年始			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数(人)	22,608	24,602	24,220	26,400	26,883
	貸室利用者数(人)	32,819	34,554	33,433	34,948	35,588
	開館日数(日)	354	355	354	354	353
	利用者評価(%) ※	68	61	61	68	－
	指定管理料(千円)	59,641	59,694	60,938	60,611	64,437
	指定管理者の支出合計(千円)	56,632	57,092	58,395	58,404	61,398
	指定管理者の人件費(千円)	32,332	33,425	33,164	34,313	36,008
指定管理に係る費用等	運営費(千円)	2,969	3,102	3,029	2,994	3,062
	管理費(千円)	19,719	18,142	19,230	19,283	20,463
	人件費(千円)	32,332	33,425	33,164	34,313	36,008
	修繕費(千円)	1,612	2,423	2,972	1,814	1,865

Ⅲ財務諸表 (単位：千円)

行政コスト計算書				行政収入			
勘定科目	R6年度	R7年度	差額	勘定科目	R6年度	R7年度	差額
給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
物件費	65,261	64,654	▲ 607	国庫支出金	50	0	▲ 50
維持補修費	2,167	2,011	▲ 156	都支出金	75	374	299
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等	5	33	28	使用料及び手数料	1,367	1,481	114
減価償却費	18,298	15,945	▲ 2,353	その他	4,485	3,427	▲ 1,058
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,977	5,282	▲ 695
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 79,754	▲ 77,361	2,393
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 1,450	▲ 1,244	206
行政費用合計(b)	85,731	82,643	▲ 3,088	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 81,204	▲ 78,605	2,599
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 81,204	▲ 78,605	2,599

貸借対照表				負債			
勘定科目	R6年度	R7年度	差額	勘定科目	R6年度	R7年度	差額
流動資産				流動負債	13,866	14,075	209
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	13,866	14,075	209
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
有形固定資産	481,573	465,628	▲ 15,945	その他の流動負債	0	0	0
土地	114,251	114,251	0	固定負債	72,528	58,452	▲ 14,076
建物	590,550	590,550	0	特別区債	72,528	58,452	▲ 14,076
建物減価償却累計額	▲ 223,228	▲ 239,173	▲ 15,945	退職給与引当金	0	0	0
工作物等	37,951	37,951	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	▲ 37,951	▲ 37,951	0	負債の部合計	86,394	72,527	▲ 13,867
無形固定資産	0	0	0	正味財産	395,179	393,101	▲ 2,078
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	395,179	393,101	▲ 2,078
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	481,573	465,628	▲ 15,945
資産の部合計	481,573	465,628	▲ 15,945				

施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。有形固定資産の建物、工作物等においては、竣工時の資産に対する減価償却が進んでいる。建設工事のうち、一部外構等は資産形成には該当しないため、固定資産には含まれていない。

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	36	39	42	44	
	1㎡当たりコスト(円)	32,816	33,509	34,474	33,233	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	57	59	57	59	
	経費に占める収入の割合（％）	3	3	7	6	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,472	1,409	1,487	1,347	
	開館1日当たりコスト(円)	230,528	234,735	242,178	233,455	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね5～6割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	77	71	71	70	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要		施設コード	S04-03-06	
施設名	三河島ひろば館			
所在地	荒川三丁目36番4号			
部課名	区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
建築	昭和46年	16,494		
増改築①				
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	昭和46年3月23日		区職員	その他
供用開始年月日	昭和46年4月15日	職員数	0	2
構造	その他	階層	地上2階	
面積	敷地面積		226	m ²
	延床面積		272	m ²
設置目的・経緯	高齢者の健康増進や文化活動の場及び地域住民の自主的活動を推進することにより心豊かな地域社会の形成を図る			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱			
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	●スロープ



管理形態	委託	三河島ひろば館運営委員会	期間	令和8年4月1日	から
				令和9年3月31日	まで
事業内容	・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・健康器具（高圧電界保健装置等）の設置 ・貸室事業				
対象者	高齢者（貸室事業は一般区民他）				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	日曜日、祝日、年末年始（貸室事業は年末年始のみ）			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数（人）	3,508	3,751	3,769	0	2,883
	貸室利用者数（人）	1,704	2,201	3,025	0	2,314
	開館日数（日）	359	360	340	0	268
	委託料人件費（千円）	6,056	6,185	6,738	5,148	8,185
指定管理に係る費用等						

Ⅲ財務諸表 (単位：千円)

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	9,463	6,547	▲ 2,916		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	333	22,186	21,853		都支出金	3,785	0	▲ 3,785	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	315	223	▲ 92		使用料及び手数料	30	0	▲ 30	
		減価償却費	0	0	0		その他	16	0	▲ 16	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,831	0	▲ 3,831	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 6,280	▲ 28,956	▲ 22,676	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	10,111	28,956	18,845		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 6,280	▲ 28,956	▲ 22,676	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 6,280	▲ 28,956	▲ 22,676		

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	46	46	0	賞与引当金	0	0	0		
		土地	46	46	0	その他の流動負債	0	0	0		
		建物	16,494	16,494	0	固定負債	0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 16,494	▲ 16,494	0	特別区債	0	0	0		
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	46	46	0		
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	46	46	0		
		資産の部合計		46	46	0	負債及び正味財産の部合計		46	46	0

備考	令和7年度は、耐力壁等改修工事を実施したため、行政費用のうち維持補修費が大幅に増えており、当該工事により施設利用を休止したことに伴い、運営経費に充てる行政収入の都支出金（高齢者市町村包括補助事業補助金）が皆減となっている。
----	---

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100	100	100	100	
	1㎡当たりコスト(円)	28,692	30,328	37,169	106,444	
	人にかかるコストの割合(委託)(%)	78	75	67	18	
	経費に占める収入の割合(%)	46	44	38	0	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,498	1,386	1,488	-	
	開館1日当たりコスト(円)	21,741	22,917	29,738	-	
備考	令和7年度は、耐力壁等改修工事を実施したため、維持補修費が大幅に増えたことから、1㎡当たりコストが大幅に増加し、人にかかるコストの割合は減となった。また、改修工事により施設利用を休止したことから、利用者及び開館日は無く、経費に占める収入の割合も0%となっている。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	68	42	53	0	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ● 廃止 ○ 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成12年4月から町会等で構成される運営委員会へ委託) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実						
現状・課題	○施設・設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 ○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。 ○利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていくことが課題である。						
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。						
議会、利用者等からの意見							

Ⅰ 施設の概要		施設コード		S04-03-07	
施設名		荒川六丁目ひろば館			
所在地		荒川六丁目33番4号			
部課名		区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和46年	17,315		
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日		昭和46年3月29日		区職員	その他
供用開始年月日		昭和46年5月1日	職員数	0	4
構造		その他	階層	地上2階	
面積	敷地面積		251 m ²		
	延床面積		277 m ²		
設置目的・経緯	高齢者の健康増進や文化活動の場及び地域住民の自主的活動を推進することにより心豊かな地域社会の形成を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○ エレベーター	○ トイレ	
駐輪場の状況	7台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



管理形態	委託	株式会社 ワコーインターナショナル	期間	令和8年4月1日 令和9年3月31日	から まで	
事業内容	・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・貸室事業					
対象者	高齢者（貸室事業は一般区民他）					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	日曜日、祝日、年末年始（貸室事業は年末年始のみ）				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数(人)	2,323	3,164	2,909	0	2,967
	貸室利用者数(人)	2,628	2,073	2,565	0	2,616
	開館日数(日)	359	360	340	0	359
	委託料人件費(千円)	6,743	6,919	7,926	0	8,398
に指定 用等 管理 費理						
備考	○委託料人件費の金額は、運営業務委託料のうち人件費相当額。 ○施設の老朽化に対応するため令和7年3月13日から令和8年3月31日まで休館。 ○休館に伴い、令和7年3月12日付けで業務委託契約を解除。					

行政コスト計算書	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費		0		0		0	行政収入	地方税等		0		0
		物件費		11,040		1,416	▲ 9,624	0		0	0			
		維持補修費		423		30,642	30,219	0		0	0			
		扶助費		0		0	0	4,282		0	▲ 4,282			
		補助費等		227		0	▲ 227	0		0	0			
		減価償却費		203		203	0	223		116	▲ 107			
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		0	0	0		0	0			
		賞与・退職給与引当金繰入額		0		0	0	4,505		116	▲ 4,389			
		その他行政費用		0		0	0	▲ 7,388		▲ 32,145	▲ 24,757			
行政費用合計(b)		11,893		32,261	20,368	金融収支差額(d)		0		0				
特別費用(g)		0		0	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 7,388	▲ 32,145	▲ 24,757				
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		0	0	特別収入(f)		0		0				
						当期収支差額(e)+(h)		▲ 7,388	▲ 32,145	▲ 24,757				
貸借対照表	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済		0		0		0	流動負債		0		0	
		不納欠損引当金		0		0	0	0		0	0			
		その他の流動資産		0		0	0	0		0	0			
	固定資産	有形固定資産		23,229		23,026	▲ 203		固定負債		0		0	
		土地		22,029		22,029	0			0	0			
		建物		17,315		17,315	0			0	0			
		建物減価償却累計額		▲ 17,314		▲ 17,314	0			0	0			
		工作物等		3,022		3,022	0			0	0			
		工作物等減価償却累計額		▲ 1,823		▲ 2,025	▲ 202			0	0			
無形固定資産			0		0	0		0		0				
建設仮勘定			0		0	0		0		0				
その他の固定資産		0		0	0		0	0						
資産の部合計		23,229		23,026	▲ 203	負債及び正味財産の部合計		23,229	23,026	▲ 203				
備考	令和7年度は、耐力壁等改修工事を実施したため、行政費用のうち維持補修費が大幅に増えており、当該工事により施設利用を休止したことに伴い、物件費（運営委託料）が減、それに充たる行政収入の都支出金が皆減となっている。有形固定資産の工作物等においては、平成27年度の改修工事で設置したフェンス等の減価償却が進んでいる。													

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	92	93	94	95	
	1㎡当たりコスト(円)	30,128	29,980	42,932	116,457	
	人にかかるコストの割合（％）	81	83	67	0	
	経費に占める収入の割合（％）	44	45	38	0	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,686	1,586	2,173	－	
	開館1日当たりコスト（円）	23,248	23,069	34,979	－	
備考	令和7年度は、耐力壁等改修工事を実施したため、維持補修費が大幅に増えたことから、1㎡当たりコストが大幅に増加した。また、改修工事により施設利用を休止したいたため、利用者及び開館日は無く、人にかかるコストの割合及び経費に占める収入の割合は0%となっている。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	39	32	19	0	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		● 廃止		
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成30年4月から運営業務を委託) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実						
現状・課題	○施設・設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 ○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。 ○利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていくことが課題である。						
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要			施設コード		S04-03-09	
施設名			町屋ふれあい館			
所在地			町屋一丁目35番8号			
部課名			区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
				国・都	区債	一般財源
	建築	平成24年	584,850			
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日		平成24年2月24日		区職員	その他	
供用開始年月日		平成24年4月1日	職員数	0	18	
構造		鉄筋コンクリート造	階層	地上3階		
面積		敷地面積		1,331.07	㎡	
		延床面積		1,494.30	㎡	
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱				
駐車場の状況		2台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		50台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



管理形態	指定管理	社会福祉法人 雲柱社	期間	令和5年4月1日	から	
				令和10年3月31日	まで	
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数（人）	40,858	60,070	67,111	67,914	69,157
	貸室利用者数（人）	5,548	18,923	18,148	17,881	18,208
	開館日数（日）	357	357	357	356	355
	利用者評価（％） ※	70	70	70	75	-
	指定管理料（千円）	60,045	65,539	65,136	67,232	70,004
	指定管理者の支出合計（千円）	58,244	62,804	62,267	65,473	67,724
	指定管理者の人件費（千円）	35,663	38,750	38,277	40,573	40,753
に指定管理等費用	運営費（千円）	3,216	3,859	4,356	5,040	5,800
	管理費（千円）	17,262	17,856	18,139	18,324	19,595
	人件費（千円）	35,663	38,750	38,277	40,573	40,753
	修繕費（千円）	2,103	2,339	1,495	1,536	1,576
備考	○令和8年度欄の金額は協定額である。 ○新型コロナワクチン集団接種会場として使用した貸室を一時休止（令和3年7～10月、令和4年2～8・10～12月）した。					

行政コスト計算書	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	68,622	70,138	1,516		国庫支出金	50	0	▲ 50
		維持補修費	2,200	4,596	2,396		都支出金	98	374	276
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	11	29	18		使用料及び手数料	1,163	1,159	▲ 4
		減価償却費	17,590	17,590	0		その他	2,360	2,686	326
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,671	4,219	548
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 84,752	▲ 88,134	▲ 3,382
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 2,199	▲ 1,907	292
行政費用合計(b)		88,423	92,353	3,930	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 86,951	▲ 90,041	▲ 3,090	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 86,951	▲ 90,041	▲ 3,090	
貸借対照表	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		21,978	22,274	296
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	21,978	22,274	296
	固定資産	有形固定資産	855,499	838,279	▲ 17,220	賞与引当金	0	0	0	
		土地	469,140	469,140	0	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	585,174	585,174	0	固定負債	126,821	104,547	▲ 22,274	
		建物減価償却累計額	▲ 201,550	▲ 217,350	▲ 15,800	特別区債	126,821	104,547	▲ 22,274	
		工作物等	21,200	21,200	0	退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 18,465	▲ 19,885	▲ 1,420	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	148,799	126,821	▲ 21,978	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	707,809	712,197	4,388	
		その他の固定資産	1,109	739	▲ 370	正味財産の部合計	707,809	712,197	4,388	
	資産の部合計		856,608	839,018	▲ 17,590	負債及び正味財産の部合計		856,608	839,018	▲ 17,590
	備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。有形固定資産の建物においては、建設工事、平成29年度の特定天井改修工事に対する減価償却が進んでいる。工作物等においては竣工時の資産、その他の固定資産においては令和4年度に設置した重要物品（焼窯）に対する減価償却が進んでいる。								

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	31	33	36	39	
	1㎡当たりコスト(円)	52,965	59,105	59,174	61,804	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	61	62	61	62	
	経費に占める収入の割合（％）	4	2	4	5	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,706	1,118	1,037	1,076	
	開館1日当たりコスト(円)	221,697	247,398	247,683	259,419	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	84	81	85	87	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要			施設コード		S04-03-11		
施設名			荒木田ふれあい館				
所在地			町屋六丁目13番2号				
部課名			区民生活部コミュニティ施設課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成16年	359,205			
		増改築①					
	増改築②						
併設施設							
竣工年月日		平成16年10月15日		区職員	その他		
供用開始年月日		平成16年10月26日	職員数	0	13		
構造		鉄骨造	階層	地上3階			
面積		敷地面積	784 m ²				
		延床面積	1,215.43 m ²				
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る					
関連部署							
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱					
駐車場の状況		2台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況		55台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



管理形態	指定管理	株式会社 大起エンゼルヘルプ	期間	令和8年4月1日 令和13年3月31日	から まで	
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数（人）	32,076	35,965	36,574	38,545	39,250
	貸室利用者数（人）	27,605	29,244	25,497	21,726	22,124
	開館日数（日）	356	357	356	356	356
	利用者評価（％） ※	60	61	63	60	-
	指定管理料（千円）	54,636	46,955	52,240	58,183	58,926
	指定管理者の支出合計（千円）	51,092	43,906	49,513	55,090	57,500
	指定管理者の人件費（千円）	32,405	26,064	30,329	35,691	34,734
に指定管理に係る費用	運営費（千円）	3,203	3,216	3,733	3,823	3,700
	管理費（千円）	14,336	13,442	14,231	14,042	17,756
	人件費（千円）	32,405	26,064	30,329	35,691	34,734
	修繕費（千円）	1,148	1,184	1,220	1,534	1,310
備考	○令和8年度欄の金額は協定額である。					

行政コスト計算書					行政コスト計算書				
勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
	物件費	58,471	61,939	3,468		国庫支出金	50	0	▲ 50
	維持補修費	759	1,612	853		都支出金	75	374	299
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	13	89	76		使用料及び手数料	1,575	1,384	▲ 191
	減価償却費	13,886	13,886	0		その他	11,866	5,684	▲ 6,182
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	13,566	7,442	▲ 6,124
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 59,563	▲ 70,084	▲ 10,521
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 95	0	95
	行政費用合計(b)	73,129	77,526	4,397		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 59,658	▲ 70,084	▲ 10,426
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 59,658	▲ 70,084	▲ 10,426		
貸借対照表					貸借対照表				
勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	574,742	602,656	27,914	賞与引当金	0	0	0	
	土地	395,708	395,708	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	408,830	450,630	41,800	固定負債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	▲ 229,796	▲ 243,681	▲ 13,885	特別区債	0	0	0	
	工作物等	2,731	2,731	0	退職給与引当金	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲ 2,731	▲ 2,731	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	574,742	602,656	27,914	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	574,742	602,656	27,914	
資産の部合計	574,742	602,656	27,914	負債及び正味財産の部合計	574,742	602,656	27,914		

施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。
有形固定資産の建物においては、建設工事、令和3年度の外壁等改修工事、令和5年度の外壁屋上防水改修工事に対する減価償却が進んでいる。

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	59.0	53	56	54	
	1㎡当たりコスト(円)	57,099	59,137	60,167	63,785	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	63	59	61	65	
	経費に占める収入の割合（％）	19	5	19	10	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,163	1,102	1,178	1,286	
	開館1日当たりコスト(円)	194,944	201,336	205,419	217,770	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	69	67	66	70	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要		施設コード		S04-03-10	
施設名		町屋二丁目ひろば館			
所在地		町屋二丁目8番13号			
部課名		区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和44年	7,399		
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日		昭和44年11月20日		区職員	その他
供用開始年月日		昭和44年12月1日	職員数	0	3
構造		その他	階層	地上2階	
面積	敷地面積		133 m ²		
	延床面積		165 m ²		
設置目的・経緯	高齢者の健康増進や文化活動の場及び地域住民の自主的活動を推進することにより心豊かな地域社会の形成を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



管理形態	委託	町屋二丁目ひろば館運営委員会	期間	令和8年4月1日	から
				令和9年3月31日	まで
事業内容	・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・健康器具（高圧電界保健装置等）の設置 ・貸室事業				
対象者	高齢者（貸室事業は一般区民他）				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	日曜日、祝日、年末年始（貸室事業は年末年始のみ）			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数（人）	3,878	3,641	3,913	0	3,991
	貸室利用者数（人）	1,765	2,234	2,636	0	2,689
	開館日数（日）	359	360	340	0	359
	委託料人件費（千円）	6,329	5,244	6,280	6,276	8,185
に指定管理 に係る費用等						

備考

(単位：千円)

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	8,456	7,820	▲ 636		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	498	17,165	16,667		都支出金	3,785	0	▲ 3,785	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	718	451	▲ 267		使用料及び手数料	64	2	▲ 62	
		減価償却費	0	0	0		その他	12	0	▲ 12	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,861	2	▲ 3,859	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 5,811	▲ 25,434	▲ 19,623	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)		9,672	25,436	15,764			通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 5,811	▲ 25,434	▲ 19,623
特別費用(g)		0	0	0			特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0			当期収支差額(e)+(h)	▲ 5,811	▲ 25,434	▲ 19,623	
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	4,088	4,088	0	賞与引当金	0	0	0		
		土地	4,088	4,088	0	その他の流動負債	0	0	0		
		建物	7,399	7,399	0	固定負債	0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 7,399	▲ 7,399	0	特別区債	0	0	0		
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	4,088	4,088	0		
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	4,088	4,088	0		
	資産の部合計		4,088	4,088	0			負債及び正味財産の部合計	4,088	4,088	0

備考

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100	100	100	100	
	1㎡当たりコスト(円)	47,162	41,703	58,661	154,270	
	人にかかるコストの割合(委託)(%)	81	76	65	25	
	経費に占める収入の割合(%)	46	53.0	40	0	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,378	1,170	1,477	-	
	開館1日当たりコスト(円)	21,660	19,100	28,447	-	
備考	令和7年度は、耐力壁等改修工事を実施したため、維持補修費が大幅に増えたことから、1㎡当たりコストが大幅に増加し、人にかかるコストの割合は減となった。また、改修工事により施設利用を休止したことから、利用者及び開館日は無く、経費に占める収入の割合も0%となっている。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	☐ 無 ☒ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	67	43	29	0	
施設運営の方向性	☐ 転用・多目的化 ☐ 民営化 ☐ 他施設との統合 ☒ 廃止 ☐ 現状維持 ☐ その他()						
管理形態の変更の推移	☒ 有 (変更内容: 平成10年4月から町会等で構成される運営委員会へ委託) ☐ 無						
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実						
現状・課題	○施設・設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 ○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。 ○利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていくことが課題である。						
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要		施設コード	S04-03-14	
施設名	尾久ふれあい館			
所在地	西尾久二丁目25番13号			
部課名	区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
建築	平成24年	956,976		
増改築①				
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	平成24年3月23日		区職員	その他
供用開始年月日	平成24年4月1日	職員数	0	13
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上6階	
面積	敷地面積		741	m ²
	延床面積		2,138.51	m ²
設置目的・経緯	乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱			
駐車場の状況	2台	バリアフリー 対応状況	●エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	50台		●点字ブロック	●スロープ



管理形態	指定管理	労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団	期間	令和5年4月1日	から
				令和10年3月31日	まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	年末年始			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数(人)	34,456	44,952	46,009	44,826	45,646
	貸室利用者数(人)	31,735	50,307	46,800	49,617	50,525
	開館日数(日)	355	356	355	355	355
	利用者評価(%) ※	98	66	85	68	—
	指定管理料(千円)	64,804	69,882	71,055	72,037	75,532
	指定管理者の支出合計(千円)	66,235	70,877	70,856	71,616	74,755
	指定管理者の人件費(千円)	38,403	40,508	40,453	40,977	42,785
※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合						
指定管理に係る費用等	運営費(千円)	5,600	5,977	4,753	5,035	4,570
	管理費(千円)	20,233	21,501	23,484	23,438	25,145
	人件費(千円)	38,403	40,508	40,453	40,977	42,785
	修繕費(千円)	1,999	2,891	2,166	2,166	2,256

○令和8年度欄の金額は協定額である。
○新型コロナワクチン集団接種会場として使用した貸室を一時休止（令和3年6～10月、令和4年2・7・10～12月）した。

(単位：千円)

行政コスト計算書					貸借対照表									
行政費用	勘定科目	R6年度	R7年度	差額	行政収入	勘定科目	R6年度	R7年度	差額					
	給与関係費	0	0	0		地方税等	0	0	0					
	物件費	72,756	75,910	3,154		国庫支出金	50	0	▲ 50					
	維持補修費	2,426	858	▲ 1,568		都支出金	75	374	299					
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0					
	補助費等	10	30	20		使用料及び手数料	2,296	2,300	4					
	減価償却費	24,067	24,067	0		その他	4,208	756	▲ 3,452					
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	6,629	3,430	▲ 3,199					
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 92,630	▲ 97,435	▲ 4,805					
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 3,532	▲ 3,064	468					
行政費用合計(b)				99,259	100,865	1,606	通常収支差額(c)+(d)=(e)			▲ 96,162	▲ 100,499	▲ 4,337		
特別費用(g)				0	0	0	特別収入(f)			0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)				0	0	0	当期収支差額(e)+(h)			▲ 96,162	▲ 100,499	▲ 4,337		
貸借対照表	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		35,377	35,851	474				
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0				
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	35,377	35,851	474				
	固定資産	有形固定資産	632,035	607,968	▲ 24,067	賞与引当金	0	0	0					
		土地	69,619	69,619	0	その他の流動負債	0	0	0					
		建物	864,432	864,432	0	固定負債	205,120	169,270	▲ 35,850					
		建物減価償却累計額	▲ 303,416	▲ 326,755	▲ 23,339	特別区債	205,120	169,270	▲ 35,850					
		工作物等	10,854	10,854	0	退職給与引当金	0	0	0					
		工作物等減価償却累計額	▲ 9,453	▲ 10,181	▲ 728	その他の固定負債	0	0	0					
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	240,497	205,121	▲ 35,376					
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	391,538	402,847	11,309					
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	391,538	402,847	11,309					
	資産の部合計				632,035	607,968	▲ 24,067	負債及び正味財産の部合計				632,035	607,968	▲ 24,067

施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。有形固定資産の建物、工作物等においては、竣工時の資産に対する減価償却が進んでいる。建設工事のうち、一部外構等は資産形成には該当しないため、固定資産には含まれていない。

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	30	33	36	38	
	1㎡当たりコスト(円)	40,714	45,204	44,633	45,355	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	58	57	57	57	
	経費に占める収入の割合（％）	2	3	7	3	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,368	1,055	1,069	1,068	
	開館1日当たりコスト(円)	255,051	282,382	279,603	284,127	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね5～6割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	58	67	69	70	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要			施設コード		S04-03-16	
施設名			西尾久ふれあい館			
所在地			西尾久八丁目33番31号			
部課名			区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
				国・都	区債	一般財源
建築		平成16年	366,751			
増改築①						
増改築②						
併設施設						
竣工年月日		平成16年9月21日		区職員	その他	
供用開始年月日		平成16年10月12日	職員数	0	14	
構造		鉄骨造	階層	地上3階		
面積		敷地面積	778 m ²			
		延床面積	1,189.16 m ²			
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱				
駐車場の状況		2台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		50台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



管理形態	指定管理	株式会社 日本デイクアセンター	期間	令和8年4月1日	から
				令和13年3月31日	まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	年末年始			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数(人)	32,270	32,935	31,970	37,192	37,873
	貸室利用者数(人)	18,352	21,895	19,549	20,173	20,542
	開館日数(日)	357	358	357	356	357
	利用者評価(%) ※	58	68	57	64	－
	指定管理料(千円)	55,339	54,981	55,311	58,288	60,052
	指定管理者の支出合計(千円)	50,228	50,502	49,859	56,402	56,004
	指定管理者の人件費(千円)	31,525	31,520	31,115	36,135	33,391
※ふれあい館利用費アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選んだ人の割合						
指定管理に係る費用等	運営費(千円)	3,348	3,994	3,030	3,847	3,500
	管理費(千円)	14,229	13,835	14,524	14,084	17,062
	人件費(千円)	31,525	31,520	31,115	36,135	33,391
	修繕費(千円)	1,126	1,153	1,190	2,336	2,051

Ⅲ財務諸表 (単位：千円)

行政コスト計算書					貸借対照表					
行政コスト計算書	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	57,967	62,004	4,037		国庫支出金	50	0	▲ 50
		維持補修費	0	0	0		都支出金	75	374	299
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	8	91	83		使用料及び手数料	870	877	7
		減価償却費	12,989	12,989	0		その他	2,862	1,850	▲ 1,012
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,857	3,101	▲ 756
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 67,107	▲ 71,983	▲ 4,876	
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 104	0	104	
	行政費用合計(b)		70,964	75,084	4,120	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 67,211	▲ 71,983	▲ 4,772
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 67,211	▲ 71,983	▲ 4,772	
貸借対照表	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	268,295	255,306	▲ 12,989	賞与引当金	0	0	0	
		土地	121,506	121,506	0	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	376,028	376,028	0	固定負債	0	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 229,239	▲ 242,228	▲ 12,989	特別区債	0	0	0	
		工作物等	6,053	6,053	0	退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 6,053	▲ 6,053	0	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	268,295	255,306	▲ 12,989	
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	268,295	255,306	▲ 12,989	
	資産の部合計		268,295	255,306	▲ 12,989	負債及び正味財産の部合計		268,295	255,306	▲ 12,989

備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。 有形固定資産の建物においては、建設工事、平成29年度の冷暖房・防水改修工事、令和元年度の外壁屋上防水改修・倉庫設置工事に対する減価償却が進んでいる。
----	---

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	55	58	62	65	
	1㎡当たりコスト(円)	58,963	60,152	59,676	63,140	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	63	62	62	64	
	経費に占める収入の割合（％）	16	2	5	4	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,385	1,305	1,377	1,309	
	開館1日当たりコスト(円)	196,403	199,804	198,779	210,910	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	71	81	84	85	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

Ⅰ 施設の概要		施設コード		S04-03-12	
施設名		東尾久小沼ひろば館			
所在地		東尾久一丁目21番23号			
部課名		区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和51年	57,013		
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日		昭和51年7月24日		区職員	その他
供用開始年月日		昭和51年9月3日	職員数	0	4
構造		鉄骨造	階層	地上2階	
面積	敷地面積		463.30 m ²		
	延床面積		303 m ²		
設置目的・経緯	高齢者の健康増進や文化活動の場及び地域住民の自主的活動を推進することにより心豊かな地域社会の形成を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○ エレベーター	○ トイレ	
駐輪場の状況	15台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



管理形態	委託	株式会社 ワコーインターナショナル	期間	令和8年4月1日 令和11年3月31日	から まで	
事業内容	・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・貸室事業					
対象者	高齢者（貸室事業は一般区民他）					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	日曜日、祝日、年末年始（貸室事業は年末年始のみ）				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数(人)	3,281	3,178	3,020	3,617	3,080
	貸室利用者数(人)	906	677	436	442	445
	開館日数(日)	359	360	359	359	359
	委託料人件費(千円) ※	7,778	6,979	6,979	7,077	8,389
に指定 用等 管理 費理						
備考	○委託料人件費の金額は、運営業務委託料のうち人件費相当額。					

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	8,376	8,887	511		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	821	1,212	391		都支出金	3,553	3,767	214	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	11	19	8	
		減価償却費	70	70	0		その他	0	0	0	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,564	3,786	222	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 5,703	▲ 6,383	▲ 680	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	9,267	10,169	902		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 5,703	▲ 6,383	▲ 680	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 5,703	▲ 6,383	▲ 680				
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	67,130	67,060	▲ 70	賞与引当金	0	0	0		
		土地	66,715	66,715	0	その他の流動負債	0	0	0		
		建物	57,013	57,013	0	固定負債	0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 57,013	▲ 57,013	0	特別区債	0	0	0		
		工作物等	1,045	1,045	0	退職給与引当金	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	▲ 630	▲ 700	▲ 70	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	67,130	67,060	▲ 70		
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	67,130	67,060	▲ 70		
		資産の部合計	67,130	67,060	▲ 70	負債及び正味財産の部合計	67,130	67,060	▲ 70		

備考 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（委託料）が大部分を占めている。
有形固定資産の工作物等においては、平成27年度の改修工事で設置した門扉等の減価償却が進んでいる。

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	99	99	99	99	
	1㎡当たりコスト(円)	30,642	28,856	30,537	33,509	
	人にかかるコストの割合(委託)(%)※	84	80	75	70	
	経費に占める収入の割合(%)	44	41	38	37	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,221	2,272	2,681	2,505	
	開館1日当たりコスト(円)	25,903	24,325	25,813	28,326	
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、概ね7～8割程度で推移している。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	☐ 無 ☒ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	47	37	24	22	
施設運営の方向性	☐ 転用・多目的化 ☐ 民営化 ☐ 他施設との統合 ☒ 廃止 ☐ 現状維持 ☐ その他()						
管理形態の変更の推移	☒ 有 (変更内容: 令和2年7月から運営業務を委託) ☐ 無						
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実						
現状・課題	○施設・設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 ○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。 ○利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていくことが課題である。						
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。						
議会、利用者等からの意見							

Ⅰ 施設の概要		施設コード		S04-03-15	
施設名		西尾久みどりひろば館			
所在地		西尾久四丁目6番4号			
部課名		区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
				国・都	区債
建築		昭和53年			
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日		昭和53年3月9日		区職員	その他
供用開始年月日		昭和53年6月1日	職員数	0	4
構造		鉄筋コンクリート造	階層	地上9階建のうち1階部分	
面積		敷地面積	都営西尾久4丁目アパート敷地内		㎡
		延床面積	275		㎡
設置目的・経緯		高齢者の健康増進や文化活動の場及び地域住民の自主的活動を推進することにより心豊かな地域社会の形成を図る			
関連部署					
根拠法令等 設置条例		荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱			
駐車場の状況	無	バリアフリー	○ エレベーター	○ トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



管理形態	委託	株式会社 ワコーインターナショナル	期間	令和7年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・貸室事業					
対象者	高齢者（貸室事業は一般区民他）					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	日曜日、祝日、年末年始（貸室事業は年末年始のみ）				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数(人)	4,621	4,271	4,678	4,523	4,772
	貸室利用者数(人)	965	1,204	1,238	1,284	1,263
	開館日数(日)	359	360	359	359	359
	委託料人件費(千円)	6,743	6,979	6,979	8,167	8,172
に指定 用等 管理 費						
備考	○委託料人件費の金額は、運営業務委託料のうち人件費相当額。					

行政コスト計算書	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	9,888	10,127	239		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	1,242	227	▲ 1,015		都支出金	3,553	4,291	738
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	3	3	0		使用料及び手数料	45	44	▲ 1
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,598	4,335	737
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 7,535	▲ 6,022	1,513
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		11,133	10,357	▲ 776	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 7,535	▲ 6,022	1,513	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 7,535	▲ 6,022	1,513	
貸借対照表	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0	
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	0	0	0	固定負債	0	0	0	
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	0	0	0	
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	0	0	0	
		資産の部合計		0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0

施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（委託料）が大部分を占めている。

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	-	-	-		
	1㎡当たりコスト(円)	31,723	34,650	40,428	37,610	
	人にかかるコストの割合（委託）（％）	77	73	63	79	
	経費に占める収入の割合（％）	40	38	32	42	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,564	1,743	1,882	1,784	
	開館1日当たりコスト(円)	24,334	26,506	31,011	28,850	
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、概ね7割程度で推移していたが令和7年度は委託料が増加したため8割となった。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	63	60	39	32	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		● 廃止		
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成28年4月から運営業務を委託) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実						
現状・課題	○施設・設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 ○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。 ○利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていくことが課題である。						
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。						
議会、利用者等からの意見							

Ⅰ 施設の概要		施設コード		S04-03-17		
施設名		東日暮里ふれあい館				
所在地		東日暮里一丁目17番13号				
部課名		区民生活部コミュニティ施設課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
				国・都	区債	一般財源
		建築	昭和47年			
		増改築①				
併設施設						
竣工年月日		昭和47年12月1日				
供用開始年月日		平成17年4月1日				
構造		鉄骨鉄筋コンクリート造		階層		
				地上14階建のうち1・2階部分		
面積		敷地面積		都営東日暮里1丁目アパート敷地内		
		延床面積		1,176.87		
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱				
駐車場の状況		無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		45台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



管理形態	指定管理	学校法人 道灌山学園	期間	令和4年4月1日	から
				令和9年3月31日	まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	年末年始			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数(人)	12,858	15,567	21,753	20,805	21,186
	貸室利用者数(人)	13,705	13,409	13,775	11,243	11,449
	開館日数(日)	353	354	352	352	353
	利用者評価(%) ※	41	26	62	40	－
	指定管理料(千円)	57,508	55,659	59,067	59,797	61,694
	指定管理者の支出合計(千円)	55,585	56,748	60,009	60,642	59,863
	指定管理者の人件費(千円)	39,130	40,016	41,745	42,618	42,676
	※ふみあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合					
指定管理に係る費用等	運営費(千円)	2,430	2,276	2,541	2,306	2,200
	管理費(千円)	13,113	13,756	14,594	14,540	13,718
	人件費(千円)	39,130	40,016	41,745	42,618	42,676
	修繕費(千円)	912	700	1,129	1,178	1,269

有	
---	--

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	61,529	64,406	2,877		国庫支出金	50	0	▲ 50	
		維持補修費	0	9,154	9,154		都支出金	116	374	258	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	10	25	15		使用料及び手数料	803	689	▲ 114	
		減価償却費	2,207	2,207	0		その他	2,942	364	▲ 2,578	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,911	1,427	▲ 2,484	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 59,835	▲ 74,365	▲ 14,530	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	63,746	75,792	12,046		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 59,835	▲ 74,365	▲ 14,530	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 59,835	▲ 74,365	▲ 14,530				
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	26,323	24,116	▲ 2,207	賞与引当金	0	0	0		
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0		
		建物	290,814	290,814	0	固定負債	0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 264,491	▲ 266,698	▲ 2,207	特別区債	0	0	0		
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	26,323	24,116	▲ 2,207		
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	26,323	24,116	▲ 2,207		
		資産の部合計	26,323	24,116	▲ 2,207	負債及び正味財産の部合計	26,323	24,116	▲ 2,207		

	1. 本公司在 2019 年 12 月 31 日及 2020 年 6 月 30 日，均无因或有事项而确认的或有负债。
--	---

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	89	90	91	92	
	1㎡当たりコスト(円)	53,480	55,938	54,166	64,401	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	70	71	70	70	
	経費に占める収入の割合（％）	8	2	6	2	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,369	2,272	1,794	2,365	
	開館1日当たりコスト(円)	178,297	185,966	181,097	215,318	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね7割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	77	79	81	82	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要		施設コード	S04-03-18	
施設名	タヤけこやけふれあい館			
所在地	東日暮里三丁目11番19号			
部課名	区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
	一般財源			
併設施設	タヤけこやけ保育園 (上記の建築費、資産に含む)			
竣工年月日	平成25年3月12日		区職員	その他
供用開始年月日	平成25年4月1日	職員数	0	15
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上4階建のうち3.4階部分(貸付部分1~3階)	
面積	敷地面積	1,966.77 m ²		
	延床面積	3,595.64 m ²		
設置目的・経緯	乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱			
駐車場の状況	2台	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ
駐輪場の状況	43台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ



管理形態	指定管理	社会福祉法人 教信精舎	期間	令和5年4月1日	から
				令和10年3月31日	まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	年末年始			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数（人）	30,841	35,316	39,350	43,976	44,781
	貸室利用者数（人）	37,757	49,922	39,550	36,242	36,905
	開館日数（日）	357	358	357	355	357
	利用者評価（％） ※	73	73	71	72	－
	指定管理料（千円）	57,074	61,526	62,080	62,787	68,169
	指定管理者の支出合計（千円）	52,142	58,492	59,139	59,944	65,428
	指定管理者の人件費（千円）	38,378	38,830	39,448	40,545	41,533
※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合						
指定管理に係る費用等	運営費（千円）	2,425	3,196	2,923	2,891	3,289
	管理費（千円）	10,369	14,927	15,253	15,240	18,950
	人件費（千円）	38,378	38,830	39,448	40,545	41,533
	修繕費（千円）	970	1,539	1,515	1,268	1,656

備考 ○令和5年度から公私連携型保育所への移行により、子ども家庭部の行政財産（区立保育園）の廃止後、同一建物内で行政財産を有する区民生活部が建物等の貸付部分を含め、行政財産所管となった。
○令和8年度欄の金額は協定額である。

(単位：千円)

行政コスト計算書					行政収入				
勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	
	物件費	66,433	68,607	2,174	国庫支出金	50	0	▲ 50	
	維持補修費	2,365	3,356	991	都支出金	75	374	299	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	18	29	11	使用料及び手数料	1,432	1,350	▲ 82	
	減価償却費	37,961	37,961	0	その他	4,686	3,581	▲ 1,105	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6,243	5,305	▲ 938	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 100,534	▲ 104,648	▲ 4,114	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 2,200	▲ 1,944	256	
	行政費用合計(b)	106,777	109,953	3,176	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 102,734	▲ 106,592	▲ 3,858	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 102,734	▲ 106,592	▲ 3,858		

貸借対照表					貸借対照表				
勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	23,699	23,957	258	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	23,699	23,957	258	
固定資産	有形固定資産	1,796,454	1,758,493	▲ 37,961	賞与引当金	0	0	0	
	土地	881,113	881,113	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	1,344,242	1,344,242	0	固定負債	161,913	137,956	▲ 23,957	
	建物減価償却累計額	▲ 435,534	▲ 471,829	▲ 36,295	特別区債	161,913	137,956	▲ 23,957	
	工作物等	25,463	25,463	0	退職給与引当金	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲ 18,830	▲ 20,496	▲ 1,666	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	185,612	161,913	▲ 23,699	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	1,610,842	1,596,580	▲ 14,262	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,610,842	1,596,580	▲ 14,262	
	資産の部合計	1,796,454	1,758,493	▲ 37,961	負債及び正味財産の部合計	1,796,454	1,758,493	▲ 37,961	

備考	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。 有形固定資産の建物、工作物等においては、竣工時の資産に対する減価償却が進んでいる。 建設工事のうち、一部外構等は資産形成には該当しないため、固定資産には含まれていない。										
----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	27	30	33	36	
	1㎡当たりコスト(円)	52,804	66,879	68,011	70,034	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	74	66	67	68	
	経費に占める収入の割合（％）	6	5	6	5	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,209	1,232	1,353	1,371	
	開館1日当たりコスト(円)	232,221	293,296	299,095	309,727	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6～7割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	67	78	81	81	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要			施設コード		S04-03-21		
施設名			西日暮里ふれあい館				
所在地			西日暮里六丁目24番4号				
部課名			区民生活部コミュニティ施設課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成20年	407,967			
		増改築①					
		増改築②					
併設施設							
竣工年月日		平成20年2月1日		区職員	その他		
供用開始年月日		平成20年4月1日	職員数	0	16		
構造		鉄骨造	階層	地上3階			
面積		敷地面積	776.20 m ²				
		延床面積	1,261.63 m ²				
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る					
関連部署							
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱					
駐車場の状況		2台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況		49台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



管理形態	指定管理	学校法人 道灌山学園	期間	令和7年4月1日 令和12年3月31日	から まで	
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数（人）	23,363	28,851	30,378	33,194	33,801
	貸室利用者数（人）	27,610	26,058	22,409	23,762	24,197
	開館日数（日）	354	354	353	353	353
	利用者評価（％） ※	65	70	67	51	-
	指定管理料（千円）	59,335	56,597	60,401	62,498	64,794
	指定管理者の支出合計（千円）	58,962	58,858	65,094	71,318	63,317
	指定管理者の人件費（千円）	40,325	41,049	45,992	48,933	42,835
に指定管理に係る費用	運営費（千円）	2,182	2,836	2,504	3,743	2,300
	管理費（千円）	14,564	13,768	15,371	16,656	15,980
	人件費（千円）	40,325	41,049	45,992	48,933	42,835
	修繕費（千円）	1,891	1,205	1,227	1,986	2,202
備考	○令和8年度欄の金額は協定額である。					

行政コスト計算書	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	
	行政費用	給与関係費		0		0		0	行政収入	地方税等		0		0	
		物件費		61,851		65,052		3,201		国庫支出金		50		0	▲ 50
		維持補修費		0		858		858		都支出金		75		374	299
		扶助費		0		0		0		分担金及び負担金		0		0	0
		補助費等		10		24		14		使用料及び手数料		944		955	11
		減価償却費		13,799		13,799		0		その他		1,814		375	▲ 1,439
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		0		0		行政収入合計(a)		2,883		1,704	▲ 1,179
		賞与・退職給与引当金繰入額		0		0		0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 72,777	▲ 78,029		▲ 5,252	
		その他行政費用		0		0		0		金融収支差額(d)	▲ 343	▲ 220		123	
行政費用合計(b)		75,660		79,733		4,073	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 73,120	▲ 78,249		▲ 5,129				
特別費用(g)		0		0		0	特別収入(f)		0		0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		0		0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 73,120	▲ 78,249		▲ 5,129				
貸借対照表	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	
	流動資産	収入未済		0		0		0	流動負債	流動負債		6,552		6,678	126
		不納欠損引当金		0		0		0		還付未済金		0		0	0
		その他の流動資産		0		0		0		特別区債		6,552		6,678	126
	固定資産	有形固定資産		314,672		300,873		▲ 13,799		賞与引当金		0		0	0
		土地		125,375		125,375		0		その他の流動負債		0		0	0
		建物		415,484		415,484		0	固定負債		6,678		0	▲ 6,678	
		建物減価償却累計額	▲ 226,187	▲ 239,986		▲ 13,799			特別区債		6,678		0	▲ 6,678	
		工作物等		12,265		12,265		0	退職給与引当金		0		0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 12,265	▲ 12,265		0			その他の固定負債		0		0	0	
		無形固定資産		0		0		0	負債の部合計		13,230		6,678	▲ 6,552	
		建設仮勘定		0		0		0	正味財産		301,442		294,195	▲ 7,247	
		その他の固定資産		0		0		0	正味財産の部合計		301,442		294,195	▲ 7,247	
	資産の部合計		314,672		300,873		▲ 13,799	負債及び正味財産の部合計		314,672		300,873	▲ 13,799		

備考 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。
有形固定資産の建物においては、建設工事、平成29年度の特天井改修工事に対する減価償却が進んでいる。

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	49	53	56	59	
	1㎡当たりコスト(円)	60,352	59,312	59,970	63,198	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	68	70	71	69	
	経費に占める収入の割合（％）	3	2	4	2	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,494	1,363	1,433	1,400	
	開館1日当たりコスト(円)	215,090	211,384	214,334	225,873	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね7割程度で推移している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	☐ 無 ☒ 有 （計画名：ふれあい館整備ニュープラン）					
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	施設稼働率（％）	目標値 実績値	— 78	— 80	— 89	— 87
施設運営の方向性	☐ 転用・多目的化 ☐ 民営化 ☐ 他施設との統合 ☐ 廃止 ☒ 現状維持 ☐ その他（ ）					
管理形態の変更の推移	☐ 有 （変更内容： ） ☒ 無					
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開					
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。					
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。					
議会、利用者等からの意見						

I 施設の概要		施設コード	S04-03-20	
施設名	諏訪台ひろば館			
所在地	西日暮里三丁目3番12号			
部課名	区民生活部コミュニティ施設課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
	一般財源			
建築	昭和50年	55,345		
増改築①				
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	昭和50年4月1日		区職員	その他
供用開始年月日	昭和50年4月9日	職員数	0	4
構造	鉄骨造	階層	地上2階	
面積	敷地面積		397	m ²
	延床面積		302	m ²
設置目的・経緯	高齢者の健康増進や文化活動の場及び地域住民の自主的活動を推進することにより心豊かな地域社会の形成を図る			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区区民ひろば館管理運営要綱			
駐車場の状況	1台	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ
駐輪場の状況	15台	対応状況	○点字ブロック	●スロープ



管理形態	委託	諏訪台ひろば館運営委員会	期間	令和8年4月1日	から	
				令和9年3月31日	まで	
事業内容	・文化教養及びレクリエーション事業 ・地域別演芸大会や文化祭等のひろば館利用者相互の交流を図る事業 ・健康器具（高圧電界保健装置等）の設置 ・貸室事業					
対象者	高齢者（貸室事業は一般区民他）					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後5時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	日曜日、祝日、年末年始（貸室事業は年末年始のみ）				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数(人)	7,596	8,676	7,993	8,527	8,153
	貸室利用者数(人)	3,892	3,921	4,402	4,792	4,490
	開館日数(日)	359	360	359	359	359
	委託料人件費(千円)	5,843	5,990	6,437	6,740	8,185
に指定 用等 管理 費						
備考	○委託料人件費の金額は、運営業務委託料のうち人件費相当額。					

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	7,861	8,733	872		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	907	298	▲ 609		都支出金	3,785	4,075	290	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	449	449	0		使用料及び手数料	268	258	▲ 10	
		減価償却費	57	57	0		その他	40	47	7	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	4,093	4,380	287	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 5,181	▲ 5,157	24	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	9,274	9,537	263		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 5,181	▲ 5,157	24	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0				
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 5,181	▲ 5,157	24				
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	80,555	80,498	▲ 57	賞与引当金	0	0	0		
		土地	78,000	78,000	0	その他の流動負債	0	0	0		
		建物	55,345	55,345	0	固定負債	0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 55,345	▲ 55,345	0	特別区債	0	0	0		
		工作物等	2,839	2,839	0	退職給与引当金	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	▲ 284	▲ 341	▲ 57	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	80,555	80,498	▲ 57		
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	80,555	80,498	▲ 57		
		資産の部合計	80,555	80,498	▲ 57	負債及び正味財産の部合計	80,555	80,498	▲ 57		

備考 施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（委託料）が大部分を占めている。
有形固定資産の工作物等においては、令和元年度の改修工事で設置したフェンス等の減価償却が進んでいる。

指標		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	95	96	96	96	
	1㎡当たりコスト(円)	26,518	29,492	30,741	31,613	
	人にかかるコストの割合（委託）（％）	73	67	69	71	
	経費に占める収入の割合（％）	48	44	44	46	
	利用者1人当たりコスト(円)	696	706	748	716	
	開館1日当たりコスト(円)	22,284	24,714	25,833	26,565	
備考	行政費用に占める人にかかるコストの割合は、概ね6～7割程度で推移している。					

IV 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	☐ 無 ☒ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	42	43	45	47	
施設運営の方向性	☒ 転用・多目的化 ☐ 民営化 ☐ 他施設との統合 ☐ 廃止 ☐ 現状維持 ☐ その他()						
管理形態の変更の推移	☒ 有 (変更内容: 平成10年4月から町会等で構成される運営委員会へ委託) ☐ 無						
利用者・地域のニーズ	高齢者を対象としたレクリエーション事業の充実						
現状・課題	○施設・設備の老朽化に対応するため、適切な修繕を実施する。 ○将来的なふれあい館への移行を見据えながら、利用者の使用実態に応じた施設の管理運営を行っていく必要がある。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。 ○利用者が固定化する傾向があり、新規利用者が気軽に利用できるような事業展開を図っていくことが課題である。						
課題に対する現時点での考え	○施設の現状を把握し、適切な修繕を行い、利用者ニーズに対応していく。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要		施設コード		S04-03-23		
施設名		東尾久本町通りふれあい館				
所在地		東尾久二丁目37番14号				
部課名		区民生活部コミュニティ施設課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
				国・都	区債	一般財源
		建築	令和4年	1,057,166		
		増改築①				
		増改築②				
併設施設						
竣工年月日		令和4年3月7日		区職員	その他	
供用開始年月日		令和4年4月1日	職員数	0	7	
構造		鉄筋コンクリート造	階層	地上3階		
面積		敷地面積	999 m ²			
		延床面積	1,592.56 m ²			
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱				
駐車場の状況		2台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		54台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



管理形態	指定管理	労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団	期間	令和4年4月1日 令和9年3月31日	から まで	
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）				
	休日	年末年始				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	事業参加者数(人)	32,315	39,322	42,593	44,831	45,651
	貸室利用者数(人)	25,806	28,851	25,904	30,168	30,720
	開館日数(日)	355	356	355	355	354
	利用者評価(%) ※	63	63	66	63	-
	指定管理料(千円)	63,989	63,304	64,922	63,867	70,492
	指定管理者の支出合計(千円)	58,275	58,487	60,845	58,875	65,441
	指定管理者の人件費(千円)	34,178	33,105	34,715	33,261	37,317
		※ふれあい館利用者アンケートの施設総合評価において、最も高い評価を選択した人の割合				
指定管理に係る費用等	運営費(千円)	4,258	4,608	5,030	4,434	4,500
	管理費(千円)	19,397	20,314	20,634	20,728	21,873
	人件費(千円)	34,178	33,105	34,715	33,261	37,317
	修繕費(千円)	442	460	466	452	1,752
備考	○令和8年度欄の金額は協定額である。					

行政コスト計算書	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	66,556	67,058	502		国庫支出金	50	0	▲ 50
		維持補修費	297	0	▲ 297		都支出金	75	374	299
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	6	31	25		使用料及び手数料	1,251	1,241	▲ 10
		減価償却費	40,013	40,013	0		その他	2,470	831	▲ 1,639
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,846	2,446	▲ 1,400
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 103,026	▲ 104,656	▲ 1,630
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 39	▲ 33	6
行政費用合計(b)		106,872	107,102	230	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 103,065	▲ 104,689	▲ 1,624	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 103,065	▲ 104,689	▲ 1,624	
貸借対照表	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		74,392	74,397	5
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	74,392	74,397	5
	固定資産	有形固定資産	1,495,811	1,455,383	▲ 40,428		賞与引当金	0	0	0
		土地	524,424	524,009	▲ 415	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	1,083,646	1,083,646	0	固定負債	▲ 188,259	▲ 262,656	▲ 74,397	
		建物減価償却累計額	▲ 118,958	▲ 158,610	▲ 39,652	特別区債	▲ 188,259	▲ 262,656	▲ 74,397	
		工作物等	7,781	7,781	0	退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,082	▲ 1,443	▲ 361	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	▲ 113,867	▲ 188,259	▲ 74,392	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	1,609,678	1,643,642	33,964	
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,609,678	1,643,642	33,964	
	資産の部合計		1,495,811	1,455,383	▲ 40,428	負債及び正味財産の部合計		1,495,811	1,455,383	▲ 40,428
	施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。 有形固定資産の建物、工作物等においては、竣工時の資産に対する減価償却が進んでいる。建設工事の一部外構等は資産形成には該当していないが、設計や工事監理委託は資産形成に該当するため、固定資産（建物）に計上している。									
備考										

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	-	4	11	15	
	1㎡当たりコスト(円)	42,014	56,676	67,107	67,251	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	59	57	57	56	
	経費に占める収入の割合（％）	1	2	4	2	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,154	1,565	1,560	1,428	
	開館1日当たりコスト(円)	143,845	187,887	301,048	301,696	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね5～6割程度である。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	—
		実績値	63	65	90	82	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							

I 施設の概要		施設コード		S04-03-24		
施設名		ひぐらしふれあい館				
所在地		東日暮里六丁目28番15号				
部課名		区民生活部コミュニティ施設課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
				国・都	区債	一般財源
		建築	令和4年	1,441,708		
		増改築①				
		増改築②				
併設施設						
竣工年月日		令和4年3月9日		区職員	その他	
供用開始年月日		令和4年4月1日	職員数		12	
構造		鉄筋コンクリート造	階層	地上4階		
面積		敷地面積	976 m ²			
		延床面積	2,310.48 m ²			
設置目的・経緯		乳幼児から高齢者まで幅広い世代の交流と自主的活動を促進することにより心豊かな地域社会の形成を図る				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川区ふれあい館条例・同施行規則 荒川区ふれあい館管理運営要綱				
駐車場の状況		2台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		62台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



管理形態	指定管理	株式会社 マミー・インターナショナル	期間	令和4年4月1日	から
				令和9年3月31日	まで
事業内容	・児童育成事業 ・高齢者レクリエーション事業 ・中高生・成人向け、世代間交流事業 ・貸室事業 など				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時（貸室事業は午前9時～午後9時45分）			
	休日	年末年始			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	事業参加者数(人)	52,662	69,175	74,239	70,847	72,143
	貸室利用者数(人)	31,174	37,877	38,110	40,103	40,837
	開館日数(日)	356	357	356	356	356
	利用者評価(%) ※	72	71	67	71	－
	指定管理料(千円)	59,751	63,454	64,607	64,913	69,859
	指定管理者の支出合計(千円)	56,493	63,205	64,805	63,574	67,500
	指定管理者の人件費(千円)	34,612	41,870	41,959	39,826	42,585
指定管理に係る費用等	運営費(千円)	2,270	1,918	1,933	2,788	2,930
	管理費(千円)	19,402	19,297	20,537	20,589	21,267
	人件費(千円)	34,612	41,870	41,959	39,826	42,585
	修繕費(千円)	209	120	376	371	719

Ⅲ財務諸表 (単位：千円)

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	66,219	66,961	742		国庫支出金	50	0	▲ 50	
		維持補修費	0	193	193		都支出金	75	374	299	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	13	32	19		使用料及び手数料	2,262	2,434	172	
		減価償却費	52,997	52,997	0		その他	5,047	791	▲ 4,256	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	7,434	3,599	▲ 3,835	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 111,795	▲ 116,584	▲ 4,789	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 210	▲ 182	28	
	行政費用合計(b)		119,229	120,183	954	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 112,005	▲ 116,766	▲ 4,761	
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 112,005	▲ 116,766	▲ 4,761		

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		116,858	116,869	11	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	116,858	116,869	11	
	固定資産	有形固定資産	1,596,322	1,543,326	▲ 52,996		賞与引当金	0	0	0	
		土地	237,557	237,557	0		その他の流動負債	0	0	0	
		建物	1,503,690	1,503,690	0		固定負債	▲ 292,292	▲ 409,161	▲ 116,869	
			建物減価償却累計額	▲ 157,207	▲ 209,609	▲ 52,402		特別区債	▲ 292,292	▲ 409,161	▲ 116,869
		工作物等	14,066	14,066	0	退職給与引当金		0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,783	▲ 2,378	▲ 595	その他の固定負債		0	0	0	
			無形固定資産	0	0	0	負債の部合計		▲ 175,434	▲ 292,292	▲ 116,858
			建設仮勘定	0	0	0	正味財産		1,771,756	1,835,618	63,862
			その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計		1,771,756	1,835,618	63,862
	資産の部合計		1,596,322	1,543,326	▲ 52,996	負債及び正味財産の部合計		1,596,322	1,543,326	▲ 52,996	

施設の運営・維持管理に必要な経費のため、行政費用のうち物件費（指定管理料）が大部分を占めている。有形固定資産の建物、工作物等においては、竣工時の資産に対する減価償却が進んでいる。建設工事の一部外構等は資産形成には該当していないが、設計や工事監理委託は資産形成に該当するため、固定資産（建物）に計上している。

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	-	4	10	14	
	1㎡当たりコスト(円)	31,052	59,193	51,604	52,016	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	61	66	65	63	
	経費に占める収入の割合（％）	1	12	6	3	
	利用者1人当たりコスト(円)	818	1,146	1,061	1,083	
	開館1日当たりコスト(円)	145,213	195,683	334,913	337,593	
備考	指定管理料に占める人にかかるコストの割合は概ね6割程度である。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	○ 無 ● 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	施設稼働率 (%)	目標値	—	—	—	—	
		実績値	73	76	81	82	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	ライフスタイルや社会的背景の変化に応じた事業展開						
現状・課題	○指定管理者による設備保守等委託業務の報告を適正にチェックして計画的な修繕につなげる必要がある。 ○施設の安全や衛生を担保するため、指定管理者と連携し、研修等を通じて職員の資質の向上を図ると共に、施設の維持管理に要する物品等が不足することのないよう、継続的に支援する。 ○利用者のニーズに沿った館運営によりサービスの維持向上を図って利用者を確保していくことが必要である。						
課題に対する現時点での考え	○指定管理者との連絡・調整を密にし、利用者ニーズ及び施設の老朽化等の現状把握に努め、計画的な事業見直し及び施設の改修等を図る。						
議会、利用者等からの意見							